

大阪大学図書館報

Vol. 8, No. 2/3 September 1974.

目次

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| ○大学教育と図書館利用 | ○学生希望図書（受入済） |
| ○大阪大学学術雑誌目録欧文編・1974年版
刊行 | ○教官著作寄贈図書 |
| ○いちよう祭展示会開催 | ○本館受入参考図書 |
| ○速報誌目次速報アンケート調査結果につ
いて | ○会 議 |
| ○書庫内図書の再配架終る | ○日 程 |
| | ○人 事 |
| | ○図書館の概況（昭和48年度） |

大学教育と図書館利用

小 泉 進

旧館の改修工事も終って、本学の中央図書館も、威容を誇るとまではいえぬにしても、大規模図書館としての体裁を整えるにいたっている、いまから20年近くもまえに私がはじめてアメリカの大学に留学したときに最も強く印象づけられたことのひとつは大学教育のなかで図書館が果す役割の大きさであった。講義には殆どの場合、大量の reading assignments がともない、学生は講義のあいだの時間、放課後から就寝までの時間の多くを assignments をこなすために図書館で過していた。教室の窓が暗くなったのちも図書館には灯が煌々とともり、深更にまでおよんでいた。およそ教室での講義は図書館の機能ときりはなしては考えられなかった。

当時、本学とくに豊中地区の図書館はとても図書館とは呼べない貧弱なものでしかなかったから、私にはこれが大変羨しくおもわれると同時に、おそよ縁遠いことのようにおもわれた。しかし、20年の歳月の経過とともに、旧館が建ち、一昨年には新館が完成し、本年には旧館の新装も成って、物的条件が随分と充実してきた図書館をみていると、それはもはや必

ずしも縁遠いという気がしない。むしろ、これだけの設備を大学教育のなかでどのように生かしてゆくかが、これからの重要な問題だともおもわれてくる。

因みに、本学の図書館では、研究用とは別の専ら学生を対象とする図書については、(1)指定図書、(2)学生用図書、(3)開架図書の3本立てで、その選定、購入がおこなわれている。そのうち(1)は講義との関連で読むことが望まれる図書、(2)は各学科目、専門の立場から、講義とは直接関係なく、推められる図書、(3)は学科、専門にとらわれない一般的な関心から学生が読むことを前提にして選ばれる図書ということのようである。しかし、それらを教育との関係でどのように利用するかについては、必ずしも共通の理解がもたれているとはおもわれず、また、そのことの当然の結果であるが、図書館においても、それらの図書を夫々の目的に沿う形で取扱う態勢が整っているともおもわれない。

したがって、大学教育により密着した形での図書館利用をかんがえる場合、毎年かなりの予算をつかって購入しているこれらの図書を教育面で一層効率的に利用することが、具体的な身近なひとつの問題としてとりあげられるだろう。そのさい、講義との直接の関連では、たとえば reserve books のシステムがかんがえられる。教官が講義ごとに、テキスト以外の書物の「何ページから何ページまでを次回までに読むこと」という形で reading assignments を課しうするためには、まず、その書物が聴講学生数に応じて何冊かつねに利用可能な形で図書館に備えつけられていなければならない。指定図書はこの目的に沿うように購入されていると解することができるが、図書の購入と、過去に購入されたものをも含めて講義のために必要な図書を reserve すること（館外借出しに応じないこと）とは別のことである。ただ、後者についての態勢が整ってはじめて前者についての指定図書の区別も明確な意義をもつといえるだろう。

もっとも、このシステムを中央図書館にすぐに導入できるかといえば、答は否であろう。アメリカの大学で図書館と緊密な関係をもって教育がおこなわれている背景には、中央図書館が充実しているだけでなく、各学部あるいは学系別に図書分館ないしは分室が整備されていて、きめ細かいライブラリー・サービスを提供しているという事情がある。本学でも学部によっては図書分室がかなりの程度ととのつてはいるが、全体的にみれば貧弱なもので、各講義のための図書の reserve などのサービスをおこなってゆくためには、この方面の充実がどうしても必要になってくるだろう。

しかし、かりに図書館側にきめ細かいライブラリー・サービスを提供する用意があるとしても、そしてかりに教官の側にかかなりの量の reading assignments を課しながら講義をする用意があるとしても、現行のカリキュラムのもとでその実施が可能かといえば、かなり疑問であろう。もちろん私には他の分野のことは分らないから、自分の周囲の事情から判断せざるをえない。このシステムを実施するためには、当然、かなり多くの時間を図書館で過ごすことが各学生にとって少なくとも物理的には可能になっていなければならないが、まずこの点に関し、アメリカの大学と比べてわが国の大学には、閉館時間が早いという大きなハンディキャップがある。殆どの場合、アメリカの大学では学生がキャンパスの近くに住み、夕食後も図書館に来る。キャンパスから離れて住む学生の多いわが国の大学の場合には、閉館時間を大幅に延長する措置がかりにとれるとしても、実効は期待できないだろう。

とすれば、図書館で過ごす時間的余裕を与えるようにカリキュラムが組まれているかيناが重要なきめてになる。現状についてこの点に関する的確な判断をするには種々の面から

の検討が必要であろう。過去数年のあいだに多くの学部で必要取得単位数の削減がおこなわれているから、時間的余裕はかなりできているのかも知れない。しかし、大学の教育制度の改革とくに一般教育の改革の必要性が盛んに指摘されていることをおもえば、むしろ必要なのは、図書館機能を組み込んだ形でカリキュラムをかんがえることのようにおもわれる。そうして、図書館機能を組み入れて講義をおこなうための物的な条件は、なお多くの問題はあるにしろ、かなりの程度充たされてきているようにおもわれるが、これはあまりに楽観的にすぎるのであろうか。

(経済学部教授)

大阪大学学術雑誌目録欧文編・1974年版 刊行

昨年9月全学に分館(室)、資料室等に調査を依頼して、約半年にわたる編集作業を経て、この度、大阪大学学術雑誌目録(1974年版)が刊行されることとなった。旧版(1969年版)から実に5年ぶりの刊行である。この間、大阪大学現行受入欧文雑誌リストが毎年刊行されて、カレントな情報の提供への配慮はあったが、これらには所蔵内容の記載、詳細な誌名変遷の注記がなく、旧版については、それ以後の所蔵個所の変更、誌名の変遷等が多くあり、利用者の方には、なにかとご不便に思われたことがあったかと察せられる。今回は、昭和47年1月より、図書館業務機械化設備として本館情報管理室に設置された電子計算機システム(FACOM 230-15)によって編集が行われたこと、及び、旧版では、恣意的な取扱いを受けていた各雑誌の書誌的来歴を、可能な限り調査したことの二点が特徴といえる。前者についてはラインプリンター活字の制限のため大文字のみで、特殊発音符号が無視され、欧文としては読みづらいものとなっていること、また、一頁当りの行数をプログラムで自由にコントロールできるため、サイズをB5版からA4版に変えて、写真縮小を施して、一頁当りの収載件数を多くし、一覧性を高めコストダウンを図った反面、活字の大きさが犠牲になった面がある。後者については、内容面での進歩として評価いただけるものであるが、さらに、抄録誌・索引誌の有無、創刊年、使用言語等の注記の追加、請求記号の表示、また、KWIC-KWOC索引、主題別リスト等、索引の作成が望まれる。しかしながら、内容の正確さについては、今回が最初のコンピュータによる編集であり、時間的制約もあって、正誤表による訂正個所が多くある。今後刊行頻度を多くし版を重ねるにつれて、より正確で詳細な目録に高められることが期待される。なお、各講座、学科、学部等の雑誌目録は、コンピュータによって短時間で作成出来るようになってきているため、ご希望があれば、参考掛までご連絡下さい。

い ち よ う 祭 展 示 会 開 催

昭和49年度本学いちょう祭は、5月1日(水)、2日(木)の2日間にわたり開催されたが、その行事の一環として、附属図書館開架図書閲覧室を利用し5月2日13時から16時までの間展示会を行ない、父兄、学生および教職員等多数の参観者があり盛会のうちに催された。本展示会では、おおむね次のような貴重図書資料等を展示した。

●教養部主催展示会

マチカネワニ

昭和39年理学部新築のための整地工事が行なわれていた際発見された化石ワニで、その全長は8mに及び、日本で最初に発見された化石でかつ最大のもの。

●文学部・法学部・経済学部・図書館共催展示会

(1)大阪地方の考古学資料

文学部所蔵品の一部で、大阪南部地域における古墳時代以降奈良時代にいたる各期の代表的遺品。

(2)適塾・懷徳堂・含翠堂関係史料

①適塾関係史料

緒方洪庵木像，ゾーフ辞書，松香弘志，病学通論等。

②懷徳堂関係史料

学問所建立記録，懷徳堂定約附記，懷徳堂内事記・外事記，中井竹山手稿(逸史)，萬年先生(論孟首章講義)，懷徳堂考定(中庸)，中井履軒先生手稿(越俎弄筆)，中井鶯菴先生詠竹詩，竹山先生咏福壽草詩幅，履軒先生食毒詩幅，履軒先生解師伐袁賛，福沢諭吉先生幅(木間瀬文庫)等。

③含翠堂関係史料

新撰菟玖波集(連歌集)，壁草(連歌集)，知連抄(連歌論書)，至宝抄(連歌論書)，於小堀遠江守殿独吟四百韻(宗因連歌作品)，てぐり舟(版本)(宗因連歌作品)，貞享元年賦何人連歌(土橋宗静連歌作品)，備中日記(河瀬菅雄著)，平野郷社奉納和歌(土橋友直詠・菅雄点)，土橋良慶書簡等。

(3)江戸時代の離縁状・堺縣達

①離縁状

江戸時代に庶民の間でひろく用いられた離婚証文で、去状、^{さり}三行半ともよばれたもの。

②堺縣達

明治11年の堺県の法令

(4)大阪の豪商の記録，江戸時代の大阪の水帳

①豪商の記録

江戸時代における最大の豪商は両替商で、大阪で代表的なものは天王寺屋(大眉)五兵衛，鴻池(山中)善右衛門，米屋(殿村)平右衛門・加島屋(広岡)久右衛門などであった。展示の史料は、鴻池家旧蔵文書(経済学部現蔵のもの)。

②大阪三郷の水帳

大阪三郷の土地台帳として用いられた「水帳」は、一般には「検地帳」と称えられたものである。展示の史料は、三郷のうち北組にぞくする尼崎町一丁目のもので、今の東区今橋三丁目の場所がそれに相当する。

水帳には、一筆ごとに表口・裏行の間数・役数・家主名などが記されている。

●本学関係の文化勲章受賞者の業績顕彰

本学に在職した者で、文化勲章受賞者11名(長岡平太郎，湯川秀樹，岡部金治郎，真島利行，菊池正士，八木秀次，赤堀四郎，仁田勇，正田建次郎，安井琢磨，早石修)にかかる写真，略歴，研究業績等が展示された。

速報誌目次速報アンケート調査結果について

本館参考掛では、昨年4月から速報誌 (Letter Journals) の目次配布サービスを、希望のあった自然科学系76講座を対象に実施してきました。講座数の内訳は、基礎工学部18, 理学部6, 薬学部7, 医学部7, 歯学部1, 工学部17, 溶接研1, 産研13, 蛋研4, 微研1, 医短大1で、目次配布を行なっているのは下記の11誌です。このコンテンツ・シートサービス

1. Physical Review Letters.
2. Applied Physics Letters.
3. Physics Letters, Sect. A.
4. Solid State Communications.
5. Chemical Physics Letters.
6. JETP Letters.
7. Chemical Communications.
8. Tetrahedron Letters.
9. B. B. R. C.
10. FEBS Letters.
11. Res. Comm. Chem. Pathol. & Pharmacol.

も今年で2年目になるわけですが、今後の参考にするため、本年3月に各講座研究者を対象に簡単なアンケート調査を行ないましたので、その結果をご紹介します。

アンケート用紙配布件数 76
回収件数 58 回収率 76%

問1 目次速報をごらんになってその論文のゼロックスコピーを申込みれたことがありますか。ある場合そのおよその件数(表参照)。
(回答) ある 26 (45%)

ない 32 (55%)

約半数近くが論文複写申込をしており、また、その利用頻度も研

申込件数	1	2	3	4	5	6	10	15	20	30	50	不明
回答数	4	1	1	1	3	1	5	1	1	4	1	3

究者により非常にまちまちであることがわかります。

問2 別紙2「昭和49年度配布対象誌名」以外に希望される雑誌があれば、その誌名をお書き下さい。

全部で27誌名があげられています。ここでそのすべてをご紹介することはできませんが、その種類としては、Electronics Letters, Communications in Mathematical Physics, Optics Communications等の速報誌の外、Physical Review, Journal of Applied Physicsといった、速報誌の母体となっている雑誌や、学会論文集、紀要等ですが、特に、総合雑誌である Natureをあげる人が多いのがめだちました。

問3 目次速報サービスについてご意見をお聞かせ下さい。

最も多かったのは、問2とも関係しますが、速報誌以外の雑誌についても目次速報サービスをしてほしいという希望です。ある分野では速報誌は必ずしも重要な論文をのせていないという理由をあげる人もありました。その他、目次の配布されるのが遅い、配布日が一定していない、という苦情。非常に役立っているという意見がある反面、あまり利用していないという人もありました。

以上が調査結果のあらましです。約半数の研究者が Xerox サービスを利用し、また、現在行なっている上記11点以外に、27点にのぼる配布希望雑誌があり、目次配布サービスも軌道にのってきたようです。

書庫内図書の再配架終る

懸案であった書庫内（2層～4層）図書の再配架を夏季休業期間中に整備を終えました。従来、その配列は主に学科別、講座別で、分類体系も統一を欠き、資料検索上不便がありました。今回、全蔵書をNDC分類体系に統一して再配架しました。これに伴って2層を雑誌専用のフロアとし、完全なABC順に配列しました。これによって、資料の検索が以前に比して極めて効率化されたので、大いにご利用下さい。

学生希望図書（受入済）

- | | |
|--------------------------------------|---|
| ガラス細工法 ー基礎と実際ー
飯田 武夫 (広川書店) | ハーパー・生化学 ー改訂版ー
三浦 義彰 訳 (丸 善) |
| 二重ラセン
江上 不二夫 訳
(タイムライフブック) | グラフ理論
池田 貞雄 訳 (共立出版) |
| 自由社会の哲学とその論敵
武田 弘道 訳 (世界思想社) | π の歴史
田尾 陽一 共訳 (蒼樹書房) |
| グラフ理論とネットワーク基礎と応用
矢野 健太郎 共訳 (培風館) | 日本学働年鑑 戦前版復刻
第6, 8, 9, 10~19, 21
大原社会問題研究所 編
(法政大学出版会) |

教官著作寄贈図書

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| ——本 館—— | 足立吟也 (工・講師) |
| 尾崎 弘 (工・教授) | 希土類元素の化学 N. E. Topp 著 |
| 白川 攻 (工・助教授) | 塩川二郎, 足立吟也 共訳
(化学同人 昭49) |
| グラフとネットワークの理論
(コロナ社 昭48) | ——理学部図書室—— |
| 関 集三 (理・教授) | 谷 久也 (理・教授) |
| 千原秀昭 (理・教授) | 高分子化学序説 (上, 下) |
| 桐山良一 (産・教授) | G. Champetier 著 |
| 一般化学 (上) 原書第3版
(岩波書店 昭49) | 谷 久也, 関口 煌 共訳
(共立出版 昭48) |
| 高田 馨 (経・教授) | 千原秀昭 (理・教授) |
| 日本的経営の特質 高田馨, 細井卓 編
(ダイヤモンド社 昭49) | 基礎化学 B. Richard Siebing 著 |
| ——吹田分館—— | 千原秀昭 訳 (東京化学同人 昭49) |
| 野本謙作 (工・教授) | 一般化学 (上) 第3版 ポーリング著 |
| ふたりの太平洋 Hal Roth 著 | 関 集三, 千原秀昭, 桐山良一 共訳
(岩波書店 昭49) |
| 野本謙作 訳 (海文堂 昭49) | 村田一郎 (取・教授) |
| 塩川二郎 (工・教授) | Topics in nonbenzenoid aromatic |

chemistry, Vol. 1 . etc. (Hirokawa Pub. Co., 1974)
Ed. by Tetsuo Nozoe, Ichiro Murata,

本館受入参考図書

昭和49年4月から8月までに受入済みのもの。	原色日本魚類図鑑 (保育社)
キリスト教大事典 (教文館)	日本産苔類図鑑 (築地書館)
太平洋戦争史文献解題 (新人物往来社)	日本医籍録 東日本版, 西日本版
岩波小辞典 社会思想 (岩波書店)	環境用語集 (共立出版)
株式会社法辞典 (国文館出版)	現代用語の基礎知識 '74 (自由国民社)
会社法律大事典 (第一法規)	時事問題の基礎知識 '74
現代和英・英和会計税務法律用語辞典 (ダイヤモンド社)	
(パシフィック・マネジメント・コンサルタント)	ルーマニア語字典 (ルーマニア言語文化研究所)
意見と意識の百科事典 '74 (サンケイ新聞社)	藤村書誌 (図書刊行会)

会 議

——国立大学図書館協議会 第21回——

49. 6. 6(木)～7(金) 於・北海道厚生年金会館
本学出席者 図書館長, 事務部長, 閲覧課長

6月6日(木), 7日(金)の2日間にわたり, 北海道厚生年金会館で約180名が参加して開催された。総会における主な報告・協議事項は次のとおりである。

1. 岸本奨励賞の報告 図書館専用器機の開発等による図書館業務の能率化(埼玉大, 石川桂作), 京都大学数理解析研究所におけるWIC活動(京大数理解析研図書室), 書誌記録処理システム(神戸大経済経営研附属経営分析文献センター)の3件の受賞が報告された。

2. 研究集会報告「大学図書館と学術情報流通体制」について問題提起の形で報告が行なわれた。

① 学術審議会学術情報分科会「学術情報の流通体制の改善について」(京大)

② 大学図書館における学術情報サービス(広大・九大)

③ 大学図書館改善協議会機械化専門部会報告(東大)

3. 各調査研究報告 ①司書職制度, ②図書館機械化, ③大学図書館改善, について, 各調査研究班からそれぞれ報告が行なわれ, 質疑応答があった。

4. 分科会, 全体会議協議, 予算, 人事, 奉仕の3分科会で各地区提出の協議題を協議し, 全体会議でとりまとめ, 要望書を文部大臣に提出することとした。

——図書館委員会——

49. 7. 23(火) 14:00～16:20 大阪大学工業会館

1. 昭和49年度予算配分について、原案どおり承認された。
2. 開架図書選択小委員会の在り方について、委員の構成を全学的なものとするかどうかを、次回図書館委員会で審議・決定することとなった。
3. 薬学部分館、人間科学部分室ならびに理学部および基礎工学部分室の在り方について経過報告が行なわれた。
4. 研究閲覧棟の再配架について、閲覧課長から、NCD分類体系に統一して再配架を実施する旨の報告があり、了承された。

——基礎工学部図書委員会 第27回——

49. 5. 24(金) 14:00~15:30 中会議室

1. 昭和48年度決算報告ならびに49年度予算案：原案通り承認された。
2. 指定図書費・学生用図書費：予算額が決まり次第、従来通りの方法で学科配分する。
3. その他：(イ)支払事務の能率化を図るため、図書資料の校費購入はなるべく在阪の書店から購入する、(ロ)単行本の貸出期限を2週間と改める、(ハ)図書懇談会の報告。
4. 連絡：図書の整理業務は理学部分室から分離し、基礎工学部分室独自で行なうことになった。実施時期は、別途慎重に検討のうえ決定される。

||||| 日 程 |||||

- 4月24日(水) 国立大学図書館協議会 常務理事会
(昭和48年度第4回、東京大学総合図書館)
" 国立大学図書館協議会(大学図書館改善調査研究会)
(第2回、東京大学総合図書館)
- 4月25日(木) 昭和49年度岸本賞選考委員会 (東京大学総合図書館)
" 国立大学図書館協議会 理事会 (東京大学経済学部)
" 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する委員会
(大阪教育大学附属図書館)
- 5月8日(水) 近畿地区国公立大学図書館協議会 総会(第43回、神戸商工貿易センター)
5月11日(土) 岸本奨励賞選考に関する事務打合せ会議 (本館)
5月20日(月) 国立大学図書館協議会(大学図書館改善調査研究会)
(第3回、東京大学総合図書館)
" 国立大学図書館協議会 常務理事会
(昭和48年度第5回、東京大学総合図書館)
- 5月21日(火) 岸本奨励賞選考委員会 (東京大学総合図書館)
5月22日(水) 大学図書館国際連絡委員会総務委員会 (東京大学総合図書館)
5月28日(火) 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する委員会
(大阪外国語大学附属図書館)
- 6月6日(木)~7日(金) 国立大学図書館協議会 総会 (第21回、北海道厚生年金会館)
6月15日(土) 大学図書館国際連絡委員会 企画委員会 (第4回、京都大学附属図書館)
6月18日(火) 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する委員会
(第6回、奈良女子大学附属図書館)

- 7月2日(火) 大学図書館国際連絡委員会 総会 (東京大学総合図書館)
 7月9日(火) 近畿地区国公立大学図書館協議会 企画委員会 (舞子ビラ会議室)
 7月16日(火) 大阪大学附属図書館分館長会議 (大阪大学工業会館)
 7月19日(金) 国立大学図書館協議会 常務理事会
 (昭和49年度第1回, 東京大学総合図書館)
 " 国立大学図書館協議会 大学図書館改善調査研究班
 (第4回, 東京大学総合図書館)
 7月23日(火) 大阪大学図書館委員会 (大阪大学工業会館)
 " 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する委員会
 (第7回, 京都府立大学図書館)
 7月24日(水) 大阪大学附属図書館吹田地区運営委員会 (吹田分館会議室)
 7月30日(火) 大阪大学附属図書館豊中地区運営委員会 (本館会議室)
 7月31日(水) 大阪大学附属図書館中之島分館運営委員会 (中之島分館会議室)
 8月8日(木) 学術情報の流通に関する特別委員会 (第1回, 京都大学附属図書館)
 8月26日(月) 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館施設研究集会 (京都府立大学)
 8月28日(水) 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する委員会
 (大阪女子大学附属図書館)
 " 大学図書館国際連絡委員会 企画委員会 (第5回, 京都大学附属図書館)

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 人 事 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

来訪者

- 5月11日(土) 男沢 淳 (名古屋大学附属図書館事務部長)
 " 藤田善一 (広島大学附属図書館事務部長)
 7月9日(火) 大阪市立大学附属図書館庶務掛福田千代子ほか5名
 8月3日(土) Unisist 研修生 Mr. Bong Namkung (Assistant manager, Department of Information Processing KORSTIC) ほか21名
 8月20日(火) 田中 操 (神戸大学庶務部長)
 " 音川啓太郎 (岡山大学閲覧課長)
 8月21日(水) 松村多美子 (文部省情報図書館課専門員)
 8月22日(木) 小林 勇 (京都大学附属図書館総務課長)

職員の移動

- | | | | | |
|-----|-------|-------|---------|----------|
| 採用 | 文部事務官 | 山口直比古 | 49.4.1付 | 中之島分館目録掛 |
| " | " | 伊藤 彰 | " | 本館閲覧課参考掛 |
| " | 事務補佐員 | 松尾 雅生 | " | 中之島分館運用掛 |
| " | " | 田渕 敬三 | " | " |
| " | " | 前田 洋子 | " | " |
| 配置換 | 総務掛長 | 阪本 重男 | " | 人事課へ |
| " | 庶務掛長 | 伊藤 貞夫 | " | 法学部から |

採用	事務補佐員	村上 安子	49. 4. 15付	本館整理課受入掛
〃	〃	鈴木 和子	〃	吹田分館運用掛
辞職	文部事務官	茂野 満	49. 4. 1付	本館整理課受入掛
〃	〃	荒木 昭義	49. 4. 30付	中之島分館目録掛
採用	事務補佐員	平岡 久	49. 5. 9付	本館閲覧課参考掛
〃	〃	脇島 修	〃	〃
〃	〃	柿沢 昭宣	〃	〃
〃	〃	坂本 條子	49. 5. 15付	中之島分館受入掛
〃	文部事務官	山田 照子	49. 5. 16付	本館整理課
配置換	〃	岩渕 恭幸	〃	小樽高大から 本館整理課受入掛
採用	事務補佐員	山本志津子	49. 6. 7付	本館閲覧掛
〃	〃	高島 文子	49. 5. 24付	〃
辞職	〃	石井美枝子	49. 7. 6付	〃
採用	〃	寺田美枝子	49. 7. 23付	本館目録掛
配置換	文部事務官	水谷 幸子	49. 8. 1付	微研図書室から 中之島分館受入掛
〃	〃	森本 泰弘	〃	附属病院業務課へ
退職	事務補佐員	田中 稔美	49. 8. 15付	微研図書室へ 定員内の異動

図書館の概況 (昭和48年度)

区 分	本 館	理学部図書室	基礎工図書室	中之島分館	吹田分館	薬学部分館	合 計	昨 年 度
蔵 書 数	580,445	79,585	50,841	174,473	227,943	18,020	1,131,307	1,068,656
48年度受入冊数								
1) 図書冊数	33,217	3,926	4,757	6,330	13,375	1,046	62,651	64,057
2) 雑誌種類数	5,840	685	841	2,245	2,949	233	12,793	11,587
図書費支出額 <small>千円</small>	124,519	30,365	37,194	46,094	110,365	9,583	358,120	311,183
施 設								
1) 建物面積(m ²)	7,875	509	403	3,027	3,249	349	15,412	15,550
2) 座 席 数	998	49	128	198	240	67	1,680	1,687
館 員 数	43	7	4	21	15	3	93	92
利 用								
1) 貸出冊数	55,439	12,998	15,627	58,047	27,681	4,292	174,084	174,993
2) 貸出人数	23,596	10,216	13,104	32,538	21,667	3,467	104,588	99,100
相 互 利 用								
1) 依頼件数(学内)	903	415	688	635	650	571	3,862	3,235
(学外)	500	149	59	2,607	319	134	3,768	3,163
2) 受付件数(学内)	3,356	21,723	4,511	22,208	2,151	187	54,135	9,406
(学外)	907	1,147	-	7,414	425	847	10,740	9,497
参 考 調 査								
1) 即時調査	4,619	-	-	4,903	3,812	-	13,334	12,843
2) 主題書誌作成	-	-	-	42	-	-	42	41